

一 概況

井争議ハ去ル九月十二日労資會見セルニ兩者ノ主張甚ク
シテ懸隔アリシ爲メ其ノ後ニ於テハ勞資ノ會見ナカリシ爲
メ争議團側ニ於テハ殊ニ焦慮ノ氣味アリテ十月十日午後八
時三十分頃之レカ交渉ヲ有利ニ轉回セシムル方法トシテ「デ
モ」ニ敢行シ營業主側ニ押掛テ暴行ヲ敢ラセルヲ以テ責任者
津田信夫外立名ヲ東京區裁判所ニ暴行濫トシテ送与セルカ
十月廿五日何レモ證據不充介トシテ解放セラレ其ノ後争議團
員ハ勞農大眾党及金物出版労働組合ノ応援ヲ得テ漸次争議
團ノ組織ヲ整へ更ニ營業主側ニ交渉ヲ兩立メントスル模範
アリ

二 營業主側ノ狀況

營業主側ニ於テハ統一固リ營業ヲ繼續シ特異ノ事項ナシ

三 争議團側ノ狀況

争議團側ニ於テハ兼ニ争議團長津田信夫外立名暴行濫ト
シテ東京區裁判所ニ送致セラレセルカ證據不充介ノ故ヲ以
テ十月廿五日何レモ解放セラレ爾來勞農大眾党王子支部ニ
争議團本部ヲ置キ活動中ナリシカ今本部ハ昭和五年十月日
リ借家争議中ノ去十一月四日ニレカ争議ニ山渡解決セルヲ
以テ彼等争議團員ハ本部移轉ノ止ムナキニ至リ客月末王子所
豊島六二五所在 純労働睦會(王子職業紹介所員ヲ以テ組織
セル各員ノ地位向上ヲ目的トスルモノ會員中鮮人多數アリ)事務所
ニ一時本部ヲ移シタルカ其ノ後争議團員津田信夫外立六
名ハ所在ヲ齟齬セルヲ以テ不穩ノ行動ニ出スルヤモ計リ難ク引
續キ争議團員ノ行動並ニ彼等ノ所在ニ就テ鋭意内偵中
四 警察事故 ナレ

右及申(通)根拠也